

読書会型ワークショップ「ワンブックシェアリング」

本当にやりたいことは、一人ではできない



– チャンスと味方がみるみる増える、“助けられる人”になる習慣とは？

今回の使用書籍

「なぜか助けてもらえる人の小さな習慣」

濱暢宏著 / 東洋経済新報社

こんなこと、感じたことはありませんか？

- ・「なんで私ばかり…」と、孤独感や不公平感を感じる
- ・周りに頼るのが苦手で、つい無理をしてしまう
- ・「一人で頑張りすぎてるな」と薄々気づいている

でも実は、“助けてもらえる人”になるには、特別なスキルも才能もありません。必要なのは、ちょっとした習慣と考え方のコツです。本書の著者・濱暢宏さんは、タクシーアプリ「GO」の開発を通して、“人に助けられながら成果を出す”ことの大切さに気づいたそうです。

- ・「ありがとう」はきちんと口に出す
- ・「忙しい」を言い訳にしない
- ・巻き込み上手になるコツ など…

職場でも、家庭でも、人との関係が変わるヒントが満載の一冊。この読書会では、本の内容をもとに、「助けられる人」の習慣を一緒に考え、明日からの一歩に繋げていきます。



開催日時：

7月17日(木)
13:00-15:00

CHIENOWA BASEにて
〒351-0011 朝霞市本町 2-7-27

「本当にやりたいこと」が動き出すヒント、ここにあります。ご参加お待ちしております！

こんな方におすすめ

- ・職場での人間関係に悩んでいる方
- ・チームで成果を出したい方
- ・自分の働き方を見直したい方

ワンブックシェアリングとは

「1冊の本を読む→伝える→対話/ワーク」を繰り返すことで本を体感するワークショッププログラムです。学びだけでなく会社外の方との非日常の交流を楽しんで頂けます。

参加費：1名8,000円(書籍代込み)
法人会員価格：①3名20,000円(書籍代込み)
②5名30,000円(書籍代込み)



過去の参加者の感想(抜粋)

これまで本を読むことに苦手意識がありましたが、「読み方」を知ることで本を楽しむことができました。

20分で1冊の本を読み終えることができるのはとても効率的です。また、参加者と共有できる場があるのは距離を縮めるのに良い機会でした。

書籍を複数人で分担し読み進めることで、短時間で1冊のあらすじを理解できるだけでなく、いろいろな人の意見や物事の捉え方を知ることができました。

申込はこちら

7/16(水)締切

